

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和6年12月27日 アンケート実施期間: 令和6年11月8日～令和6年11月29日

事業所名: 放課後等デイサービスくる 保護者等数(利用児童数)25名 回収数19名 割合76%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	7			不明、よく分かっていない(どちらともいえない)	お子様の発達状況やその日の活動目標に応じて、室内と戸外での活動の両方を取り入れていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	5			夏から新しく体制が変わり新しいスタッフも多いので分かりません。(どちらともいえない) 不明、よく分かっていない(どちらともいえない)	保護者様と初対面の場合には、帰りの送迎を担当した職員が自己紹介をさせていただくようにしています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	5			不明、よくわかっていない(どちらともいえない)	来所いただいた際に見ていただく機会を作っています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	18	1				保護者様とお子様のお考えをうかがい、アセスメントシート等を使ったり、職員同士での話し合いを重ねたりしながら支援計画を立てています。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	17	1		1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	7	4	1	機会の有無を存じていません(どちらともいえない)	お子様の発達状況に合わせて、児童館や公園での活動で他のお子様と一緒に活動できるような、支援していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	2		1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1	1	1		帰りの送迎時にお子様の様子をお伝えしたり、連絡帳に記入したりしています。ご心配なことがあれば、お電話でお話をうかがっております。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3	1	1		事業所内相談の際にお話をうかがい、お子様のことを保護者様と一緒に考えさせていただいています。

⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	7	4	1	保護者同士の横のつながりは特にはないのでは。必要とも思っていない(どちらともいえない)	今後、ニーズがあった際には、保護者様同士の交流や意見交換などの場の提供を考えていきます。
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	8		1	苦情があったと聞いたことがない(聞かされていない)ので不明(どちらともいえない)	意見をいただいた場合にはすぐに職員間で話し合い、迅速に対応するようにしていきます。

⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	3		1		
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1		1		ホームページには事業理念や自己評価結果などを掲載しています。また、おたよりを発行し、活動予定や取り組みの様子などをお伝えしています。
⑭	個人情報に十分注意しているか	15	3		1		
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	2		1		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1		1	非常食体験などよい活動だと思います。(はい)	火災と地震についてそれぞれ状況を変えながら避難訓練を実施しています。また令和6年11月には非常食を食べる機会も設けました。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	15	3		1	非常に楽しみにしています。(はい)	
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	15	3		1	非常に助かっています。いつもありがとうございます(はい)	ご意見などがありましたら連絡帳や電話でいつでもうかがい、対応していきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和6年12月13日

公表: 令和6年12月27日

事業所名 放課後等デイサービスくる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動内容に合わせて環境を設定しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○		様々な専門職で対応しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		施設内はバリアフリーであり、怪我のないようマットを敷いています。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		個別支援計画を作成し、ケース会議をしています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート調査実施後に職員会議を行い、改善点を把握し、対応を決めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による評価を行いたいと思っていますが、具体的な動きには繋がっていません。実施の際には、評価結果を業務改善に活かしていく予定です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修等に参加しています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者様との面談を行い、お考えを伺うようにしています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		必ず職員間で話し合って活動プログラムを決めるようにしています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		5領域を踏まえて活動を設定しています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		1日のスケジュールを立て、利用児童に合わせた支援をしています。	

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	非常勤職員も含め、全職員が業務日報を毎日記入しています。	翌日に朝、前日の振り返りをしたり、気付いた点を共有したりして、当日の支援に活かしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	毎日、日誌の記入を行い、活動内容やお子様の姿を振り返ることができるようにしています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	一覧表を作成し、すべての利用児童についてモニタリングを実施する月の把握をしています。	相談支援事業所と連携を図り、サービス利用計画書も活用しながら判断しています。担当者との意見交換も行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○	ガイドラインを理解し、さまざまな視点から活動を考えています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	参画できています。	児童発達支援管理や管理者を中心に参画しています。さまざまな職種との連携を大切に、今後も継続して参画させていただく予定です。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	学校との情報共有は常に行っています。	職員は送迎時に学校の先生と話し、学校や子どもの情報を共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		弊社は児童発達支援事業所を併設しています。他市の発達支援センターとの連携を積極的に行っています。
保護者との	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		経験がないです。

連携	⑳ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		機会をいただいた際には積極的に受けています。	
	㉑ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>		児童館にて他児と交流しています。	
	㉒ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>		自立支援協議会子ども部会に参加しています。	専門職として、他機関との連携も強化していきます。
	㉓ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		常に保護者との連携をとっています。	職員と保護者で子どもの状況を伝え合い、把握できるよう努めています。
	㉔ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	<input type="radio"/>			必要に応じて、保護者に子どもとのかかわり方や状況の捉え方等を助言させていただいています。
保護者への説明責任等	㉕ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		契約時に面談し、説明をしています。	
	㉖ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>		随時保護者からの相談があれば事業所内で面談を行ったり訪問したりしています。	送迎時の話や連絡帳だけでは伝えきれないことについて、別で時間を確保し、保護者と話すようにしています。
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>			状況やニーズ等を精査しながら機会を作っていきます。
	㉘ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>		契約時に苦情対応窓口を示し、周知しています。	日頃から職員は保護者の話を聞くよう心掛け、相互理解に努めています。
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>		定期的に手紙を発行しています。	活動内容や活動のねらい、子どもの姿を保護者に伝えていきます。
	㉚ 個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			個人情報の取り扱いは職員間で注意しています。
	㉛ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配			必要な子どもには絵カードやスケジュール表などを活	連絡帳で子どもの様子を伝えたり、手紙に活動中の全体写真を掲載したりしています。

	慮をしているか	<input type="radio"/>		用しています。	
	③7 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		<input type="radio"/>		今後検討していきます。
非常時等の対応	③8 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	<input type="radio"/>		必要な場合には保護者に臨時の手紙を配布し、周知に努めています。	
	③9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			避難訓練(火災、地震)、防災教育、BCP 訓練を定期的実施しています。
	④0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			虐待・身体拘束に関する研修を、非常勤職員も含め、全職員に行っています。
	④1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>			ホームページ等に身体拘束適正化のための指針を公表しています。
	④2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		<input type="radio"/>		医師への意見書等は求めたことはありません。今後必要に応じて求めていきます。
	④3 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			年に3回ヒヤリハット委員会で共有しています。また月に1度の職員会議でも報告し合い、組織全体での共有を行っています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスくるくくる1-2		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日	～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日	～	令和7年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		
○ 分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々のニーズに合わせて、支援計画を立案し、療育に反映できています。	・毎月の活動は利用者様の今の姿や計画を踏まえて、支援者間で話し合い、内容を決定しています。 ・文字や絵カードを用いて分かりやすく説明しています。 ・個別対応が必要な場合は、気持ちに寄り添えるように声掛けをしています。	・活動内容はその場一回で終わるものではなく、繰り返し取り組み、身に付けられるものを取り入れていきます。 ・支援者全員で話し合い、活動内容をより精査していき、利用者のニーズに沿ったものを考えられるようにします。
2	・生活スキルを高める活動(LST)を取り入れています。	・お店屋さんごっこなど遊びの中でお金の使い方を学んだり、計算したりする機会を作っています。計画的に近所の店で買い物学習も行い自立を支援しています。 ・服たみやひも結びなど日常生活に必要な動作を活動中に練習しています。 ・高学年の利用者様はおやつ配膳を支援者と一緒に行っています。	・ご利用者様の年齢や発達状況に合わせて、お湯やレンジなどを使った簡単な調理を行うことができるようにしていきます。 ・電車やバスなどの公共交通機関を使った移動練習を計画的に取り入れていきます。
3	経験や専門性の異なる支援者集団を作り、さまざまな視点で療育をおこなうことができています。	ご利用者様がいろいろな経験をすることができるように季節の行事やお出掛けなどを設定することや、子どもたちの提案ややりたいことを実現できるようにしています。	支援者同士が話し合う場を多く設け、それぞれの知識や意見交換を行うことで質の高い療育を提供することができるようにしていきます。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校と事業所間の送迎に時間がかかり、高学年のご利用者様に対して十分な療育時間がとれない場合があること。	様々なご利用者様を受入れていきたいという思いから、あまり学校や学年を気にせずに入れている。	土曜日や祝日、長期休暇などを有効活用し、自立に向けての様々な活動を取り入れていく。
2	事業所の目の前が道路であるので、乗車や降車の際に危険が伴うところ。	ご利用者様の学校や学年の下校時刻に合わせた送迎、宿題や療育で職員の出入りが増えると、一人ひとりの利用者様と落ち着いて関わることができない場合もある。	職員同士が声を掛け合い、連携を強化していく。療育内容の質について常に見直し、向上を図る。
3	ご利用者様の体格差があり、遊びが激しくなったり怪我に繋がったりしそうなこと。	ご利用者様同士のトラブルや言葉遣いが悪いことが気になっている。	職員が丁寧な言葉かけを意識したり、SSTなどで状況にふさわしい言葉遣いの獲得を支援していくようにする。また、玩具の提供をしたり、遊び方を伝えたりして、落ち着いて過ごせるようにかかわっていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
放課後等デイサービスくるくくる1-2		令和7年3月25日				23	15	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	6	0	1	・室内で縄跳びができるスペースがあるので十分だと思う。 ・狭いように見える。	限られたスペースではありますが、利用者様が安全に過ごせるよう配慮して活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	4	・言語訓練の先生が少ないため、やりたくてもできない。 ・送迎まで先生にして頂き、負担が多くないが少々心配です。	言語訓練は体制が整い次第、お知らせできるようにしていきたいと思います。送迎は毎回同じ支援者が行うのではなく、交代で行うようにしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	2	・生活スペースを見る機会がありません。 ・鍵が高い所があったりと配慮を感じる。	利用者様が安全に過ごせるよう、大人が居る場所に鍵を設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	1	・消毒等よく徹底されているイメージがある。	衛生環境は毎日清潔に整えております。手洗いの呼びかけ等で、利用者様の健康意識を高められるように支援しています。
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0	・様々な分野の専門の方にサポートして頂けると思う。 ・親身になっていただいている。 ・先生によって子どもの性格や特性など分かっている方とない方といます。	支援者がモニタリングや日頃の支援を通して、利用者様の性格や特性等がしっかりと把握できるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	・保護者の話をよく聞いてくださっている。 ・ニーズを定期的に確認することができている。	これからも保護者様のお話をよく聞き、支援に活かしていきたいと思っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0	・色々な活動をやっている印象がある。 ・他の曜日にも通わせたい。	これからも利用者様が意欲的に参加できるような活動を計画していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	3	3	7	・他学校の子もいて良いと思う。	他校の利用者様と関わることで、新たな人間関係の構築を図ることができています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	同士のトラブルがあったり、ご利用	0	0	0	変更があったときはすぐに説明してくれる。	変更がありましたら、速やかにお伝えします。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	4	4	・少なめです。時間がなく、さっと終わってしまふときもあります。	今後講習会等の案内があれば情報提供を行ってきたいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達について共通理解ができていますか。	15	0	0	0	・連絡帳にも毎日細かく記入して返してくれる。	連絡帳にはその日行った活動や利用者様の様子を記載しています。これからもその日の様子を保護者様と共有できるようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0	・回っていることは一緒に考えてくれる。 ・先生によります。	定期的な面談の時や送迎時に利用者様の様子をお話させて頂いております。また、随時相談を受け付けております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0	・いつも優しい。	これからも利用者様、保護者様に寄り添い支援していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	8	6		ニーズを調査し、検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	1		窓口を設けており、ご意見やご相談がある場合は迅速に対応していきたいと思っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0	・連絡ノートはありがたい。	連絡帳による日々の様子の伝達はこれからも継続し、支援に活かしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	1	・毎月おたよりで知らせてくれている。 ・先生の入れ替わりなどあったら、通信などで知らせてもらえるとうれしいです。	おたよりでは日々の様子や今後の活動計画等をお知らせしております。支援者の異動につきましては対応を検討していきたいと思っています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	2			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	1	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	2	・子どもと一緒に訓練していて感心している。 定期的な火災、地震の避難訓練を行っています。避難の仕方や最寄りの避難場所の確認を主に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	2	・そんなことはなかったが、もし起こってもそうなるであろうと信じている。 安心して通っていただけるよう、安全を心がけ、支援していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2	0	0	毎日行くのを楽しみに学校を頑張っています。 これからも利用者が安心して来ていただけるよう、支援にあたっていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1	0	0	・いつもありがとうございます。 ・これからもよろしくお願いします。 これからも利用者が安心して来ていただけるよう、支援にあたっていきます。

事業所名		公表日		令和7年 3月 25日		
放課後等デイサービスくるくくる1-2						
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		安全に過ごせるよう、室内では歩くように声を掛け、怪我を避けられるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		怪我がないように柔らかい素材のマットを敷いています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		来所時や食事前などは必ず手洗いやアルコール消毒を行うように声を掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		落ち着いて学習に取り組めるように、個別の部屋を用意しています。また、利用者様が気持ちを落ち着けたいときにも使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日、支援前に打ち合わせを行い、活動の役割分担や目標設定を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児童発達支援管理責任者と支援者で面談を行い、意見を聞く機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を行いたいと思っていますが、具体的な動きにはつながっていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		虐待研修、BCP研修、感染症蔓延防止研修、防災研修等の研修を毎年行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		現在ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントでは支援の様子や保護者様からの聞き取り等で得た情報を支援者全員で共有し、個別支援計画の作成を行っています。	個々のお子様への理解をより深めるべく、支援中はお子様に向き合い、関わられるようにしていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ご利用者様同士のトラブルがあっ	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月モニタリングを行い、支援者間で利用者様の現在の様子を共有し、計画に反映しています。計画に則った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援者間では日誌を用いて、日々の行動観察の記録を共有できるようにしています。また保護者様にも日々の様子をお伝えするために、連絡帳に記載してお渡ししています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		利用者様の様子を踏まえ、様々な活動を支援者全員で検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		SST、レクリエーション、指先を使った活動や自立訓練など毎日のプログラムが同じにならないように組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		指先を使う日常生活動は個別での活動で、SSTやレクリエーションなどの活動は集団で取り組んでいます。集団活動への参加が難しい場合は、支援者と個別で同様の内容の活動ができるように支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に支援者全員で打ち合わせを行い、活動内容や役割分担の情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援終了後は送迎業務もあるため、翌朝、気付いた点を報告し、支援者間で共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の日誌に、利用者様の様子を記載し、支援内容を振り返られるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎月モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		集団生活のルールを守りながら、利用者様の気持ちを尊重し、自身で選択ができるような声掛け心がけています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービスマン担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	相談支援事業所の方と児童発達支援管理責任者で話し合い、利用者様の様子を伝えていきます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校への送迎時に、担任の先生と話し、学校や利用者様の情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	弊社の児童発達支援事業所と連携して、情報の共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		これまで15～18歳までの方の支援経験がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	弊社の他放課後等デイサービスのご利用者として活動することがあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		今後機会を見つけ参加したいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎時に利用者様のその日の出来事や様子を保護者様にお伝えしています。また、連絡帳にも記載してお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後研修会等の機会がございましたら、情報の提供を行っていききたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時にご理解いただけるよう、具体的な説明を心がけて説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	保護者様に支援内容を具体的に説明し、同意を得るようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	相談は随時受け付けており、迅速に対応するよう心がけています。必要に応じて面談も実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		実施できておりません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	窓口を設置し、苦情等あれば対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	おたよりの配布やホームページの更新を行っています。	活動内容や活動の狙い、利用者様の姿を保護者様に伝えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには十分気を付けるよう支援者間で伝えています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	簡単な言葉で分かりやすくなるよう説明したり、絵カードを用いたりして情報を伝えています。また、ホワイトボードにスケジュールを明記し理解がしやすくなるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業意識を回っているか。	○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	火災を想定した避難訓練と地震を想定し、最寄りの避難場所まで歩いて非難する訓練を行っています。また感染症蔓延防止訓練として、嘔吐物処理の訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	避難訓練や研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時や面談でてんかん発作や服薬等について確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーがあるかどうかを契約時に確認しています。また面談時に、食事に関する変化があったか確認をしています。	現在、アレルギー対応が必要な利用者が在籍していませんが、食事提供時には十分気を付けていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	支援者間で室内の安全点検や近隣施設の危険箇所について話し合い、情報共有を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	支援者会議でヒヤリハットについて情報共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的に研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	どのような時に身体拘束を行うかを契約時に具体的に説明し、ご理解をいただいております。		